

## 私の青春時代、故郷でもあります

教師 あおき 青木 さぶろう 三郎

前略

過日、「燦然と輝く希望の星」を送っていただき、ありがとうございます。礼状がとんでもなく遅くなり、失礼しました。

私は、今年で、教員生活 50 年になります。本年は北野高校と東住吉高校の掛け持ちです。なんとかこの節目の年を良い年にしようと、力を尽くしているのですが、いかんせん、寄る年波には勝てず、毎日を忙しくしています。

やっと先日、「燦然と輝く希望の星」を拝見しました。なつかしい先生やら、校舎やら、生徒諸君やら、ああ、ああいう日々もあったのだと、感慨ひとしおです。

今も時折見る夢は、あの旧校舎。あの 3 階の角っこの職員室。停電のとき、ローソクに灯をともして、生徒と語り合った思い出の中にしかない空間。いつも机の上に片手を出さなかった生徒。彼には出したくない理由があった。別の生徒が言っていたのは、夜勤で夜中を過ぎると、わかっているのに、思わず、プレスをする時に、台の上に手を置いてしまったと。ほかにも機械に指を巻き込まれ指をなくした生徒。時は日本の高度成長期。彼らをはじめとする、15 の春に泣いた生徒たちによって支えられた一面もあった日本。多くの生きる糧を与えてくれた、燦然と輝く日々。

思い出をすっかりもって行ってしまった旧校舎を、今、改めて、画面で見ていると、つきない思いにふけてしまいます。よい記録を残してくださったと、感謝の気持ちで一杯です。本当に有難うございました。

草々

2013 年 6 月 30 日

**\*事務局** 先生は 1966 年から 1980 年まで 14 年間在職され、国語、文芸部顧問など担当され、29 期生から 42 期生までがお世話になっております。母校が教員になられて 2 校目の赴任校です。